

4館イベント情報

白岩焼展 —健康美あふれる焼きもの—

- 会期:4月18日(土)~7月5日(日)
- 会場:仙北市立角館樺細工伝承館
- 開館時間:午前9時~午後5時(入場は午後4時30分まで)
会期中は無休

江戸後期から130年続いた白岩焼は、初期の献上品から日用品にいたるまで、多種多様の器を作り出しておりますが、なまこ釉のたっぷりかかった力強いフォルムは、多くの人々に愛用されてきました。

この度伝承館では、秋田県立博物館で開催の「白岩焼展」に併せ、地元角館でもその一端を伝える展覧会を企画しました。

2会場で800点に迫る白岩焼が展示されております。

伝承館では2室にわたって白岩焼を展示しておりますが、1室目は、つぼ・手あぶり・水指・変わりすず・花生・植木鉢など装飾性の高い白岩焼を中心に展示し、2室目は、すず・かめを中心に、日用品などその神髄を伝える健康美に満ちた白岩焼を展示しております。この展覧会を通して、さらに白岩焼への造詣と関心が深まることを期待しております。



■問合せ:角館樺細工伝承館 TEL(54)1700

好評開催中の

特別展「立原正秋展」は6月5日が最終日です。

4月25日のオープン以来、県内外から来てくださった多くの文学ファンの方の声を紹介します。

- 「ここで立原正秋に出会えるとは驚きだ」
- 「小規模だが、良い展示だ」
- 「これが見たくて、わざわざ来ました」
- 「若い時から読んでいました」 などなど...
- *女性ファンのみならず、思いのほか男性が多いのにびっくりでした。



これからも、皆さんに楽しんでいただける展示を企画したいと思えます。ご意見などぜひお聞かせください。

6月6日(土)~6月12日(金)は展示替えのため休館いたします。

■問合せ:新潮社記念文学館 TEL(43)3333

市民会館6月行事のお知らせ

18日 北東北音響技術カンファレンス

テーマ「本質から考えるデジタルミキサーの活用方法」

北東北における音響技術を考える会議が開催されます。

入場無料 参加申込必要 10:00から受付

参加資格は特にありませんが、音響に興味があり、実施に携わったことのある方

■問合せ:仙北市民会館内 北東北音響技術カンファレンス事務局 新田 <http://sites.google.com/site/ntsecofficial/>

21日「名人八人芸 津島留吉追悼公演」

主催 神代芸能保存会六代目 藤原組

飾山囃子踊り 藤原ケイ子社中

ゲスト 民謡日本一 藤原美幸 民謡日本一 浅野保子

第1部 秋田民謡 飾山囃子手踊り

第2部 歌謡ショー 友情出演 玉扇会 佐藤美和子 佐藤美鈴

バンド演奏 スイング・チェリーズ

入場整理券 500円 前売券あり

■問合せ:藤原 TEL(44)3485 西宮 TEL(44)2140

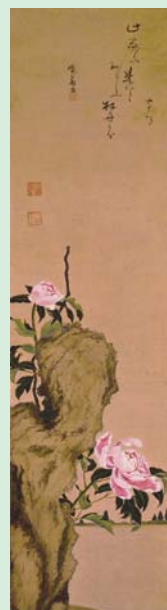
小田野直武・佐竹義躬生誕260年記念企画展

- 会期:10月3日(土)~11月8日(日)
- 会場:角館町平福記念美術館
- 開館時間:午前9時から午後5時まで(入館は午後4時半まで)
会期中は無休
- 入館料:大人300円 小人200円 *20名より団体割引有り
- 展示:秋田蘭画作品・関連資料

佐竹義躬 寛延2年(1749年)5月4日、秋田藩佐竹北家第5代角館所預、義邦の嫡子として生まれる。名は初め義寛、後に義躬と改める。字は通大。雪松、一謙亭、嘯月亭、小松山人、素盈などと号した。父義邦は俳句に優れ、文芸を広く好み、その影響で幼少より俳句、絵に親しむ。小田野直武とは同年生まれで直武の父に槍を習っていたことなどから、幼少の頃より主従としても密接なつながりがあり、蘭画を描くようになる。明和6年(1769年)11月8日家督を継ぐ。安永4年(1775年)6月21日藩公帰国御礼使者として江戸に上り、小田野直武らの出迎えを受け、阿蘭陀香盒、同筆立、チンタン酒など舶載の珍しい品を献上され、夜遅くまで共に過す。7月11日江戸出立の際小田野直武の見送りを受ける。安永8年(1779年)10月江戸に上る。直武、藩より遠慮申し付けられ帰国する。安永9年(1780年)一旦帰国、寛政11年(1799年)隠居、寛政12年(1800年)1月16日死去。法名泰俊院殿武山良威大居士、常光院(角館町北家菩提寺)に眠る。

■問合せ:角館町平福記念美術館 TEL(54)3888

※角館樺細工伝承館・新潮社記念文学館でも関連展示を予定しています。



佐竹義躬「岩に牡丹図」
秋田県立近代美術館蔵